

2日目(8日)の午後、各所管事務に係る議案調査、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

今後の成人式、町の考え再び聞く

総務文教常任委員会

問 11月28日の女性と語る会、12月4日の区長と語る会の中で、来年からの成人式について意見が出された。町の考えを再び聞く。

答 成人式は、20才を迎えて決意を新たにする場であり、節目の年にするのが正当と思う。式典である『成人式』よりも、実行委員会の主催である『祝う会』の持ち方が課題となる。

問 『式典のみ』、あるいはノーアルコールで『祝う会』を実施する自治体もあるが、アルコーがない開催の方向で指導していききたい。

答 議会中継について、議場の問題、経費や費用対効果の問題もあり、執行部の意見を聞きたい。

問 議会中継について、議場の問題、経費や費用対効果の問題もあり、執行部の意見を聞きたい。



成人式での一コマ

問 通達もあるが、対応は。

答 返礼品は、町内の物産にこだわり、過度の競争もなく町の産業振興も含めて30%で対応していきたい。

めに、費用対効果が懸念される。金山町の議場は狭いので、操作する場所がなく課題もある。ふるさと納税の返納率を総務省から50%から30%にする

病児保育の取組みに向け検討を

～産業厚生常任委員会～

問 こども園に通わせ、発熱等で帰宅の場合、職場をすぐに抜けられない。迎えにいくまで園児を見ていただくことができないのか。

答 病児保育の検討は必要と考えるが、現状として静かなところで待機していただいで、親がきたら帰宅する形を取っている。

問 街並みづくり資料館の使用を禁止している。地方創生の今、半日700円程度をもらうより無料にして使わせていただいた方が良いのでは。

答 施設の在り方を含めて今後検討させていた。スキー場のシーズン券がシニアより高校生のほうが高い。もう少し安くても良いのでは。

問 施設の在り方を含めて今後検討させていた。スキー場のシーズン券がシニアより高校生のほうが高い。もう少し安くても良いのでは。

答 昨年は大人16枚、中学生2枚、シニア7枚の販売だった。周辺スキー場より安いと認識している。



元気に遊ぶ子どもたち

問 町長が落花生に力を入れるというが、担当課の考えは。

答 県内に大きな需要企業があると考えている。山形大学との産学官民の連携となる。30年度は何件か農家の協力を得て実証していく。

問 官民協働除排雪は町なかでしているが、周辺地域で使いたいといった場合、可能なか。

答 町なかでなくても可能である。県の事業で一ヶ所5万円が上限。場所があれば相談いただきたい。

議会活性化報告

各団体と議員の語る会

この秋、3団体と議員の意見交換会を実施した。特に、町の対応を確認すべき事項については、12月議会定例会での一般質問や担当課との協議を行っている。

○学校長等と語る会 (10月31日)

中央公民館を会場に町内の小中学校の校長先生、教頭先生など10名と意見交換を行い、子どもたちの様子の報告とともに施設の課題等について要望があった。

「教育に力を入れている町」と評価する一方で、特に「地域の学校としての存在感の向上」や「学力向上」の取り組み状況、更には「エアコンの早期導入による学習環境の改善」の要望や「新南金山校存続の危機意識からの取り組み事例」の紹介など、児童生徒との充実した学校生活の様子とともに切実な課題も伺えた。

議会としても、エアコンの計画的な早期導入など、諸課題の共有と実現に向けて行動していくことを確認した。



○女性と語る会 (11月28日)

町連合婦人会(星川恵子会長)の主催により、恒例となった「女性と語る会」が50名を超える女性の参加のもと、会員研修を兼ねて中央公民館で開催された。

「政策提言の今」をテーマに、子育て支援、観光振興や高齢者対策について重点的に意見交換した。特に、病児保育や定住促進住宅への期待や女性の視点から見た観光振興策の提言、更には、今後の成人式のあり方など、幅広く議論が交わされた。

議会としても、所管の常任委員会等で議論しながら、更なる検証を進め、課題の解決に向け努力していくことを確認した。



○区長と語る会 (12月4日)

例年開催している「区長と語る会」が、町区長・公民館長連絡協議会(松田順一会長)の主催により、31地区全ての区長の参加のもと開催された。冒頭、各議員からは「産業振興」「少子高齢化」「定住対策」「地域づくり」に関して現状や持論を報告し、地域に根差した住民自治をリードする各区長と意見を交わした。

特に、成人式のあり方や中央公民館の改築計画、更には、一歩進んだ定住対策、具体的には子どもたちが戻るような雇用対策を核とした取り組みへの期待もあった。

議会としても、政策提言の検証に引き続き取り組みながら、新しい時代につなげる役割をしっかりと果たしていくよう活動していくことを確認した。

